

1) 研究課題名

健康ナビゲーターによる行動変容ステージの改善に関する研究

2) 研究目的と意義

生活習慣病予防は健康寿命の延伸を達成するうえで重要です。生活習慣病予防の基本は、生活習慣の改善、すなわち、禁煙や、食事・運動療法です。しかしながら、生活習慣の改善は、個々による生活環境や基礎疾患の違いや、合併症によっても対策が異なるため、その人に応じた対策が必要です。運動については、1日30分程度の有酸素運動が推奨されていますが、心肺機能や整形外科的問題を抱えている方には、無理のない個々人の機能に応じたメニューの作成が必要となります。食事については、過度なカロリー制限によって、栄養障害を来したり、筋量の低下を招いたりすることもあるため、注意が必要です。

そこで、今回、健診結果で「将来の糖尿病発症のハイリスク群」とされる HbA1c 5.6%以上を示した方に、活動量計、体重計、血圧計の貸与、毎日の歩数等のデイリー情報や過去の健診結果の見える化、保健師による定期的な保健指導は、健康的な生活習慣を身につけることに有用か評価することを目的としています。なお、この研究はトヨタ自動車株式会社、豊田市役所の協力のもと名古屋大学医学部附属病院倫理委員会の承認を受けて実施しています。

3) 対象者

研究対象者の選択基準

- とよた健康ナビゲーター倶楽部(名古屋大学 健康寿命を考えるプロジェクト)
- とよた健康ナビゲーター倶楽部主催の健康診断にて HbA1c が 5.6%以上の方

除外基準

- 糖尿病、その他の疾患にて通院中で、主治医より運動療法等が禁止されている方
- その他、健康診断の結果等にて不適切と判断した方

4) 方法

1. 「とよた健康ナビゲーター倶楽部」の参加者において、とよた健康ナビゲーター倶楽部主催の健康診断で HbA1c が 5.6%以上の方を抽出します。
2. 研究の説明を行い参加の同意を取得します。
3. インターネット経由で本試験の Web 登録システム(臨床研究支援センターのデー

タセンター) にアクセスし割付調整因子の入力を完了し登録を行います。

4. 介入群に専用の活動量計、体重計、血圧計を貸与します。
5. 活動量計、体重計、血圧計の記録は、インターネットを通じて自動的に回収され蓄積されます。
6. 対象者の過去の検診結果と、食事内容・喫煙・運動量等の生活習慣に関する情報を回収しデータベースを作成します。
7. 保健師（コールセンター）より、電話による生活指導を行い、行動変容ステージの調査を行います。
8. 6ヶ月後に健康診断を行い採血検査、問診を行います。

研究期間；実施承認日から 2018年06月30日

研究の成果は、提供者本人やその家族の氏名などが明らかにならないようにした上で、学会や学術雑誌及びデータベース上で公に発表されることがあります。

いただいた情報について、将来の研究への同意がいただける方については、現時点では特定されない将来の研究のために用いられる可能性があります。

研究責任者：名古屋大学医学部腎臓内科 教授 丸山 彰一

○問い合わせ先

名古屋大学医学部腎臓内科

TEL：052-744-2192 FAX：052-744-2209

○苦情の受付先

名古屋大学医学部経営企画課：(052-744-2479)